



東京都立墨東病院

連携だより

発行 東京都立墨東病院 事務局医事課
〒130-8575 東京都墨田区江東橋4-23-15
TEL: 03-3633-6151(代表)
<http://www.bokutoh-hp.metro.tokyo.jp>

VOL.51

新年、明けましておめでとうございます



昨年は大変 お世話になりました

墨東病院長 梅北 信孝 (写真中央)

副院長 富山 順治 (後列右)

副院長 大島 哲 (後列中央)

事務局長 八巻 昭宏 (後列左)

看護部長 大田 敦子 (前列右)

医療連携室長 井手 隆文 (前列左)

平成27年の新春を迎え、心よりお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

地域医療機関の先生方には、日ごろから大変お世話になっております。旧年中もいろいろな場で多くの先生方と交流を持ち、顔の見える連携を進めることができました。10年前までは40%程度であった紹介率も、昨年は70%近くまで上昇しております。深く感謝申し上げます。

さて、昨年8月には新棟がオープンしました。もともと新棟はSARSや2009pdmインフルエンザの発生を受けて、国の「地域医療再生基金事業による感染症対策に係る整備費用」により増築したものです。そのオープンに合わせるかのように、国内でデング熱が発生し、西アフリカでエボラ出血熱が流行しました。多くのマスコミが取材に訪れ、エボラ対応受け入れ訓練時には、都知事も視察に訪れ、大々的に報道されました。現代においては、国際化、グローバル化により、ひとたびどこかの地域で発生した感染症は、瞬く間に世界全域に拡大していきます。一方、国は現在の倍の2千万人の海外観光客を獲得する目標を立てており、このところの円安の影響もあり海外からの旅行者は急増しています。また、コレラ、マラリア、デング熱などは、気象や気候に非常に敏感な感染症ですが、地球温暖化により、病気のパターンが変化し、亜熱帯

でしか見られなかった感染症が本邦でも発生してくることが予想されます。デング熱の発生はその先駆けでしょう。

当院は、一種・二種感染症指定医療機関であり海外発生新規感染症や、一類感染症の発生時には、当院で封じ込め対策をしっかりと行い、感染の地域への拡大防止に努めてまいります。新棟は感染症対応独立病棟となっていますので、万が一、新規感染症が発生しても、他の一般診療に影響を与えることがなく対応できます。

消費税増税は延期され、年末総選挙となりましたが、医療費削減の方向性は変わらないように思われます。国は、2025年へのロードマップとして、高齢社会対応を進め、入院医療機能の分化・強化と連携を、また地域包括ケア体制の整備として、在宅医療体制の充実を謳っています。当院は高度急性期病院として、医療の機能分担と連携により、効率の良い質の高い医療を提供いたします。返送、逆紹介を増やし、地域のかかりつけ医の先生方と双方向の連携をさらに進め、患者さんの早期の社会復帰を可能にする体制(患者相談支援センター)作りに取り組みたいと考えております。

地域医療のさらなる充実に向けて、本年もご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

救命救急センターが新しくなりました

新棟の竣工に伴い、昨年8月1日、救命救急センターが新棟に移転しました。

新しい救命救急センターの病室は4階にあり、ベッドの数は以前と同じ24床ですが、今回EICU（救命救急入院料4算定病床）が12床に増床され、救命救急入院料1算定病床であるLICUが12床となりました。

EICUは、熱傷専用病室を含む個室4室と、大部屋としての8床から成りますが、この8床については、必要に応じて、すべてを個室化できるようなパーティションを造り込んであります。

さらに、EICUの各ベッドには、ベッドサイドモニターや、人工呼吸器、輸液ポンプなどの器材を格納できるシーリング・ペンダントを配しており、医療ガスの供給ホースや器材の電源コードなどが、病室内の床を這うことがないようにしております。

また、LICUについては、4床部屋が2室、2床部屋が1室、個室が2室（弱陰圧）という構成にしました。

救命救急センターの初療室は、これまでの2室から3室に増やし、うち2室は1階に置き、3室目は4階の病棟内に設置しました。今回の改良として、1階の初療室の一つに、処置台から移動することなく、そのまま全身CT検査および血管造影検査が実施できるIVR-CTシステムを導入いたしました。

さらに、1階の初療室と4階の病室とを直接結ぶ、患者搬送のための専用大型エレベーターを設置しました。人工呼吸器や人工心肺装置を装着した状態でも支障なく搬送できるように、通常のベッド用サイズのものより一回り以上大きいものです。

また、今回の移転に際し、高圧酸素治療装置（第二種）を、新たに4階の救命救急センター内に設置いたしました。

なお、救命救急センターの後方病床については、これまで通り、一般病棟内に55床で運用いたします。

以上の様な新しい設備のもとで、さらに地域の要求に応えられるような救命救急センターを目指して参りますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

救命救急センター部長 濱邊 祐一



◀救命緊急センター病室▶



◀IVR-CTシステム▶



◀高圧酸素治療装置▶



墨東病院認定看護師による活動のご紹介

現在、墨東病院には9分野14名の認定看護師が活躍しています。区東部地域医療圏における看護の質の向上として、ご要望のあった医療施設へ直接向う「出張学習会」の開催や、当院へお越しいただいたのラウンド見学などを実施し、地域のリソースナースとして活動を広げています。今年度からは糖尿病看護分野が新しく加わりました。糖尿病患者に関わる血糖管理や足病変リスクがある患者のケア、療養指導などに力を入れていきたいと考えています。

また、皆さまへご案内している認定看護師学習会は、9月27日に『心肺蘇生法（BLS）およびAEDについて』、11月29日に『エンゼルケア』の2回開催しました。各回とも多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。講義だけではなく、実践を重視し明日から活用していただけることを目指して演習を取り入れました。毎回、知識・技術を吸収しようとする参加者の熱気にあふれています。

墨東病院看護部 認定看護師

- 感染管理
- 皮膚・排泄ケア
- 救急看護
- 集中ケア
- 新生児集中ケア
- がん性疼痛看護
- がん化学療法看護
- 緩和ケア
- 糖尿病看護

ご要望に応じた内容で、出張学習会を実施しています。ぜひ、ご活用ください。



◀BLSおよびAED▶



◀エンゼルケア▶

紹介予約のご案内

当院の受診は救急の場合を除き、紹介予約制を原則としています。

緊急の場合

緊急の場合は必ずご一報下さい。

- 電話予約センター TEL:03(3633)5511(直通) 受付時間 午前8:30～午後5:00
- 診療放射線科検査予約 MRI・CT検査 TEL:03(3633)6191(FAXと兼用)
RI検査・放射線治療 TEL:03(3633)6192(FAXと兼用)
受付時間 午前9:00～午後5:00
- 問い合わせ先 医事課「医療連携係」 TEL:03(3633)6151(代表)内線2115
FAX:03(3633)7130
- 月～土 午前9時～午後5時
TEL:03(3633)6151(代) 当該診療科の救急当番医師
- 夜間、休日
TEL:03(3633)6151(代) ER担当
- 三次救急
TEL:03(3633)6151(代表) 救命救急センター

● 診療放射線科検査予約の用紙はホームページからダウンロードできます。 墨東病院ホームページ・医療関係者の皆様へ→医療連携のご案内・検査予約のご案内